



神は何時もあなたと共にいます。

発行元 紀南教会 和歌山県田辺市 下屋敷町80 TEL/EAX:0739-25-1191 E-mail: kinan-ch@beach.ocn.ne.jp H・P: http://www.kinanch.org/

新緑の季節が素早く過ぎていきます。新年度が始まり、新しい環境に慣れてきました。初めての経験で緊張したり、少々失敗したり、また楽しい交わりが出来たりと日々新鮮でしょうか。お疲れが出てくる頃かと思えますので、体調管理には十分にお気を付けてください。

編集員一同

### 「この世との折り合いをつける」

【免疫力を高める】 安保徹(元新潟大教授)によれば、人間の体にはもともと体に入ってきた異物を処理したり、癌細胞などの体内で生まれたミスを処理する力が備わっている。人間の体は間違いを起さない。私たちが生き方を間違ったから病気になる。』と云う。

六五才以上の人が五〇%を越えると、その村や町は限界集落と呼ばれます。

その意味は「過疎化・高齢化が進展していく中で、経済的・社会的な共同生活の維持が難しくなり、社会単位としての存在が危ぶまれている集落。』だそうです。

頭の毛もなくなり、物忘れがひどくなり、階段を上る途中に忘れてしまうこともしばしば。加齢とともに目に見えて筋力、体力が衰えて来る。顔のたるみ、シワ、抜け毛、記憶力の低下。「誕生日、ローンク吹いて立ちくらみ」思わず吹き出しそうなる川柳だが、やがて人ごとではなくなります。

「私にはもう人のために何も出来なくなりました。」と悲しまれることがあります。そんな時「自分が薄暗い谷間にどんどん落ちていくのを感じた。」と告白しています。そして「私はそんな時、聖書の言葉を思い起こした。それはこんな言葉だった。『たとい私は死の

陰の谷を歩むとも、災いを恐れません。あなたが私と共におられるからです。』この言葉を覚えていたから恐ろしいことはありませんでした。』ともおっしゃいます。

レモン先生を支えていたのは聖書の言葉、つまり神様だったのです。先生は寝たきりになった最後の半年、病床で多くの思い出話を残して下さったのです。年を取って体が弱くなったり、病気になるたりして、誰かの世話にならなければ生きていくのが難し

### 古くなる価値が下がるのか

紀南教会牧師 上山 耕司

「目からうろこ」のような気がしました。タナベルに本があるし、ネットで講演も聞けます。 【免疫力が下がる】 職場の組合員が二人脱退した。理由は経済的な理由(組合費)らしいが、今の世の中に漂っている「無力感」延長線上にあるような気がする。

「教え子を再び戦場に送るな」という合い言葉で始まった組合活動だったが、今は自衛隊員が戦場に送られようとしている。かつては職場で多数派だった組合も今は少数派に。まあ、少数派でもいいのだが、この社会の大きな右傾化に対する無力感にまいる。全く免疫に悪い。免疫に悪いとい

で、神の前にはどんな人も無限の価値があるのです。人は体が弱くなっても、年を取って何も出来なくなっても、人間本来の価値が下がることがはないのです。なぜなら、神がその人を大切に思っているからです。神の御子キリストは病める者の病を負い、悲しむ者と共に悲しみ、罪多き者の罪をその身に負って、十字架で死なれた。それは、神がそれらの人々を御子の命と引き替えるほど大きな価値がある人だと思われている証だ。神はそれらの人々を価値が低い人間として見捨てられないばかりか、その人といつも共にいて下さるのです。そして、尽きることもない命を約束

す。仕事柄二、三十キログラムの袋を積んだり下ろしたり体を使うことが多く筋肉痛などは日常茶飯事です。逆に仕事をしながら筋力トレーニングができるのだから一石二鳥こんなうまい話はない程度に思っています。 ですが、一ヶ月程右腕の痺れがひどく、この原因は何?と少々不安になりました。整形外科のお医者さんです。整形外科のお医者さんです。その画像をモニターに映して頸椎のこの部分の軟骨が変形してきているからと原因の説明をしてくれました。 若い頃ならいざ知らず、五十も半ばを過ぎる年齢ともなると筋力トレーニングだとばかりいつていられない。体の耐用年数を考えて使いたい方

も考えないといけないのね、という思いに一瞬なりました。が、よく考えてみると頸椎と日頃の力仕事で使う場所がちよつと違う、原因は他にあるのではということ、ある仮説を立てて検証中です。 酔っぱらって、寝相が悪いと頸椎に負担が掛かる、それも繰り返し繰り返しならなおさら。ならば酔っぱらうことを極力少なくすることで症状を改善できるのではと。経過は良好です。 あ、よく考えると読者の皆様にはまるで関係のないお話でした。 輝

【その一】 最近 ひしひしと「若い」を感じる事件があった。ここの一週間程 仕事で夜遅くまでしなければいけない、その疲れからか〇〇菌が膀胱を通り越して腎臓にまで至ってしまったらしい。若い頃は三〜四日徹夜しても、いや去年も同じような作業をしたが何ともなかったのに。 たった一年で身体の状態がこんなに変わってしまった。 日頃は忘れてしまっているのに、少し調子が悪いと健康であることのありがたさをひしひしと感じる。毎日気持ちよく生活できるというのは、全く当たり前前のことではないのだと実感した。

【その二】 過去の自分が書いたかわ版の文章を今読み返して、「こんな文章を書いたつもりはないのになあ」と思ってしまった。自分ではより自然体の文章をと思っていたつもりですが、いつの間にか肩に力が入ったものになっていたようです。「もっと楽しんでよく考えろ」という話で

よく考えると.. ね、という思いに一瞬なりました。が、よく考えてみると頸椎と日頃の力仕事で使う場所がちよつと違う、原因は他にあるのではということ、ある仮説を立てて検証中です。 酔っぱらって、寝相が悪いと頸椎に負担が掛かる、それも繰り返し繰り返しならなおさら。ならば酔っぱらうことを極力少なくすることで症状を改善できるのではと。経過は良好です。 あ、よく考えると読者の皆様にはまるで関係のないお話でした。 輝

